

釜石納涼 花火 2022



TOPICS まちの話題

7月27日～29日、8月9日～10日 釜石市・青森市中学生交流事業

平和への思い 風化させることなく

戦争への理解を深めようと釜石市と青森市の交流が今年度から始まりました。当市からは、7月に各中学校から2人を青森市に派遣し、平和記念式典や防災訓練への参加、青森市の空襲の歴史などを学びました。青森市からは、5つの中学校の生徒10人が、8月9日から訪れ、戦没者追悼式への参加や戦争体験談を聞きました。

互いのまちを訪れ、交流を深めた中学生は「戦争体験の生の声を聞き、戦争の恐ろしさや平和の大切さを改めて感じた」「災害もいつ起こるか分からない、日頃の準備が必要」と話し、理解を深めました。



青森大空襲の被害を物語る石壁を見学する生徒ら（左）
学んだことを基に実際の行動に移し、平和で安全な世界にすると誓いました（右）

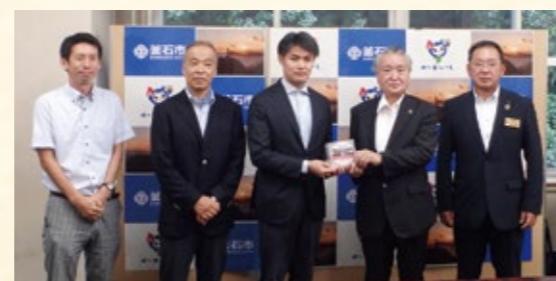
8月18日 JICA作成の動画教材披露会

「震災復興の経験を世界へ」

国際協力機構（JICA）が作成した動画教材の披露会が開催されました。

動画教材は、2018年にインドネシア中部スラウェシ州で発生した地震、地滑り、津波からの復興の取り組みが描かれています。同地域では、釜石市と宮城県東松島市の東日本大震災からの復興の経験、特に住民との合意形成をしながら、まちづくりや生活再建の後押しを進めてきた取り組みが、現地事情に合わせて適用されています。

動画教材は、ウェブ上で公開される他、世界各国の行政官への研修や、学生の講義などに利用されます。



動画教材（YouTube）

8月5日 こどもエコクラブ「釜石湾内クルーズ体験会」

身近にある環境を大切に

こどもエコクラブは、ホタルや野鳥、星空の観察会など、さまざまな体験を通して身近にある自然に触れ合いながら、自然を大切にする心や環境問題に取り組む力を育むために活動しています。

今回は、（株）山元や釜石港湾事務所の協力により釜石湾内をクルーズしながら釜石湾の自然や歴史を学びました。観光船はまゆりの元ガイドの千葉まき子さんがガイドを務め、釜石大観音の正面の姿や湾口防波堤などを間近で見て、泉地区のケーランヤード付近では湾口防波堤が作られるまでの歴史を学びました。子どもたちは、普段は見ることができない角度から釜石湾を観察し、改めて自然の壮大さを感じ、環境の大切さを学びました。



湾口防波堤の開口部付近では、堤防の内外で
千葉さんのテンポの良い案内で、
波の高さの違いに大きな声が上がりました
参加者は理解を深めました

8月8日 ストリートピアノ寄贈式典

中心部の観光資源化に期待

釜石商工会議所青年部が釜石市民ホール TETTO にストリートピアノを寄贈しました。同会長の宍戸文彦さんは「音は心を和ませたり、希望を持たせてくれる。まちの中心部が明るくなれば」と観光資源として期待を込めました。

また、寄贈式典に合わせて、釜石こども園の年長組の園児10人が、練習を重ねてきた歌とダンスで会場を明るく盛り上げました。

このピアノは、1階階段横に設置され、だれでも演奏できます。



興味津々でピアノを演奏する園児ら